

第4回 C 班班議事録

参加者

- ・ 前橋市職員
- ・ コーディネーター
- ・ 委員

1. 提案書の話し合い

- 共通部分の意見
 - 誰が何に困っているか、地域の関わりが薄くなっている、孤立が増えている、行政サービスの使い勝手があまり良くない、情報発信が足りていない等の課題。
 - 解決のために「人づくり」「環境づくり」「仕組みづくり」の3つの柱を使って進めるべき。

2. 提案書の感想

- 22 ページの環境づくり
 - 「老人クラブなどを通じて、アンケート調査、訪問調査を実施する」は貴重だが、個人ではなく地域のカテゴリーに入れるべき。
- 23 ページの学校での問題把握
 - 環境づくりだけでなく、人づくりにもつながる。
 - 教師の負担を減らすため、サポートできる仕組みを学校と行政が作るべき。

3. 学校での総合学習

- 総合学習の時間を活用
 - 社協や実務者を講師にする。
 - 学校で問題を把握することにフォーカスすれば環境づくり、探求学習を実践するにフォーカスすれば人づくりにつながる。

4. 自治会の役割と課題

- 自治会参加への敷居を下げる
 - 自治会に代わる住民のラフな集まりの場を作る。
 - 自治会活動が面倒くさいと思われているため、煩わしさを取り除く必要がある。

5. 高齢者の集まりの場

- ラフな集まりの場
 - 高齢者が集まる場所として、ゲームセンターやアミューズメント施設の活用。
 - ポイント活動（ポイ活）やウォーキングの推奨。

6. 自治会の見直し

- 自治会活動の見直し
 - 自治会活動の内容や話し合いをするためにコーディネーターが必要。
 - 自治会の役割が浸透していないため、見直しが必要。

7. 行政職員の感想

- 学校での意識づけ
 - 授業で地域の一員だという認識を持ってもらうことが重要。
- 自治会組織の見直し
 - 古い組織は壊して新しいものを作るべき。
- 市民の主体性
 - 自治の主体としての意識を持つことが大事。

8. ワークショップの感想

- 地域福祉の意識
 - 地域福祉や地域活動に積極的に参加する意識が芽生えた。
 - 自分ごと＝地域ごとという認識を持つことが重要。